



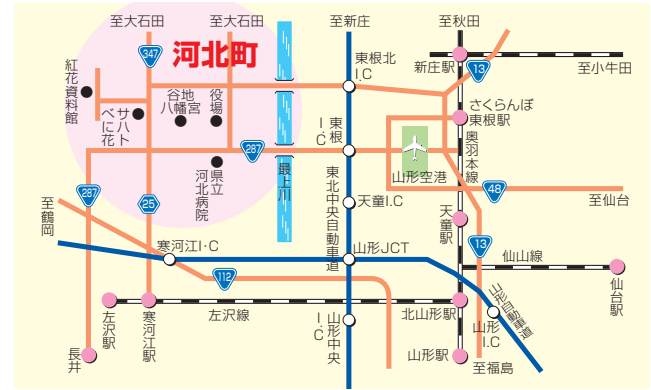
2023
9月16日(土)~18日(月)



ACCESS INFORMATION

交通のご案内

河北町



山形	山形新幹線	天童	10分	さくらんぼ東根駅	タクシー15分	バス20分
	左沢線	寒河江	25分	寒河江	タクシー15分	バス20分
	山形自動車道	寒河江I.C.	20分	東根I.C.	7分	
山形空港	山形JCT	25分	天童I.C.	10分		

お問い合わせ先
 (一社)河北町観光協会 TEL(0237)72-3787 FAX73-3500
 谷地八幡宮 TEL(0237)72-2149 FAX72-2150

どんがまつり

2023.7

まつり日程

9/16(土)



囃子屋台巡演

奴・囃子屋台巡演
 谷地舞楽奉奏 [14:30~]
 夜遊の舞楽 [19:50~]
 御神輿渡御 [20:20~]

9/17(日)



神輿選御

奴・囃子屋台巡演
 御神輿還御 [12:30~]
 谷地舞楽奉奏 [14:45~]
 谷地八幡宮例大祭 [17:15~]

9/18(月)



全国奴まつり

囃子屋台巡演
 各種奉納行事
 献茶式・茶会(県内唯一)
 まつり競演
 提灯屋台行列
 谷地奴行列
 囃子屋台競演
 ※河北町役場前駐車場



べにのすけ



Twitter



instagram

谷地のどんがまつりに ひめられたもの

紅花で京都・大阪と

結ばれた町

河北町谷地は、最上川中流の緑豊かな田園地帯に静かにたたずむ文化の濃い町である。江戸時代には米と紅花の一大集積地として栄えた町であった。ここに集積した米と紅花は最上川を酒田へ下り、そして日本海沿岸ルートを敦賀に上陸、琵琶湖・淀川を経由して京都・大阪に送られたという。それゆえ、神輿行列を彩る囃子屋台のお囃子には、祇園ばやしの名残をとどめている。

藩政時代の記録によると、見物の人々が最上郡中より十万人もあつたという。紅花による財力を恐れた幕府は当地方谷地八ヶ村をそれぞれ天領、上山領、戸沢領に三分割し帰属せしめた。ときの英知はむしろこの制度をさかてに取り、三年に一度の当番制として祭典一切の所役をつ

とめ、さらに大当番を置いて差配をとりもっている。三年に一度の当番は、町内間の競争心をあおり、いやがうえにもボルテージを高めている。この間の取り決めは細部にいたるまで非常に厳格に決められており、今日もきびしく引き継がれている。

まつりのみどころ

初日は、谷地八幡宮境内での林家舞楽です。特に、紅染めの衣装やかがり火が灯る夜の清浄な闇の中で、厳かに行われる夜遊の舞です。

二日目は、御神輿環御の行列と先頭で露払いを務める谷地奴です。勇壮な振り姿とユニークな掛け歌は楽しさ満載です。特に、谷地八幡宮の鳥居をくぐる瞬間は必見です。

三日目の夜は谷地奴と囃子屋台の競演です。町内一円を三日間練り歩いた四台の囃子屋台が一堂に会してのお囃子と歌踊りは圧巻です。



かけ歌もユニークな勇士の誉れ高い奴



囃子屋台



陵王

眼前に見る古代の舞の衝撃

谷地の舞楽は、谷地八幡宮の神職をつとめる、林家が伝承する舞楽である。林家の祖「林越前政照」は大坂四天王寺の楽人であった。平安初期の貞観二年（八六〇）山寺開創のうちに僧円仁（慈覚大師）に随従して出羽に下り山寺に舞楽を司どつたと伝えている。平安中期には、東北最大の古刹慈恩寺と江戸期より谷地八幡宮にも舞楽を司どり今日に至っている。

伝承の舞楽の最大の特徴は、早く地方に下つたため貴族による改作を殆ど受けておらず、より古代の様式を多く伝えていると評価されている。